

観葉植物

Foliage Plant

人々に潤いとリラックス効果を与え、
空間の空気をキレイにする観葉植物。
美しく、室内空間を飾るインテリアとして楽しみましょう。



置き場所

日光が差し込む窓がある明るい室内で育てましょう。

●**春～夏**:日差しの強い季節は、直射日光で葉が日焼けしないようにレースのカーテン越し程度の光が最適です。

●**冬**:暖房を切った部屋や夜間の窓際などどうしても冷えてしまいます。日当たりも考慮しながら、日中は窓際、夜間はできるだけ暖かい場所に移動させるなど、置き場所を調整しましょう。



水替え

観葉植物の水やりの基本は毎日必ず与えるのではなく、「鉢土が乾いたら、底皿からあふれるぐらいたっぷりと与える」のがポイントです。夜に水やりをすると土が低温になり根を痛めることもありますので水やりは午前中に行います。

乾湿のメリハリをもって水やりすることが大事で、水やりのしすぎは根腐れを引き起こすので注意しましょう。

水やりとは別に霧吹きで葉っぱに水を吹きかけることで、観葉植物の色ツヤをよくし、元気な状態を維持することができます。乾燥しやすい夏や冬は、毎日行うことをお勧めします。



肥料

種類によっても異なりますが、基本的には4～9月の生育期の間にのみ与えます。おすすめの肥料は粒状緩効性肥料、もしくは液体肥料です。

●**液体肥料**:生育期間中7～10日に1回、規定量に水で希釈して与える。肥料の与えすぎは逆に弱らせてしまう可能性があるため、少なめから様子を見て与えるとよいです。

●**粒状緩効性肥料**:生育期間中1ヶ月に1回、規定量を土の上につまぐ。



植え替え

観葉植物はだいたい2～3年に1回、5～9月の間に植え替える必要があります。

また、植え替えるときは、新しい観葉植物用の土を使うことが大切です。市販の培養土を入手するか、赤玉土6:腐葉土4の割合など好みにブレンドして、元肥となる緩効性肥料をまぜて植え替えます。植え替える際は今使っている鉢の一回り大きな鉢に植え替えましょう。



温度

一般的に生育に適した気温は20℃～25℃越冬に必要な温度は5℃～10℃以上になります。

胡蝶蘭

Phalaenopsis Orchid

胡蝶蘭の花言葉は、「幸福が飛んでくる」。

贈る側も贈られる側も

幸せを感じられるような花言葉を持っています。

まさに新しい出発やお祝い事にふさわしい花です。



置き場所

直射日光の当たらない風通しがよく明るい場所が適しています。また、エアコンや扇風機などの風に当たらないようにご注意ください。



温度

冬は18℃～25℃前後が適しています、夏はできるだけ涼しい所に置いてください。



水替え

水ゴケが乾いたら水を与えます。一週間から10日に1回がひとつの目安です。水やりの回数が多いと根腐れの原因になりますのでご注意ください。暖房の効いた乾燥している部屋内の場合、霧吹きをすることをお勧めします。1回の水やりの目安は一株につきコップ一杯の量。(三本立の胡蝶蘭には3つの株(ポット)が一つの陶器鉢に植わっています。)

●**ラッピング**: 最初の水やりの際に取り外すことをお勧めします。そのままの状態にすると鉢内が蒸れ、病気の原因になります。ラッピングしたままにする場合はラッピング用紙のそこに穴をあけて水が抜け出るようにします。



ポイント

■花が終わって再度咲かせる方法

1. 支柱を抜いて支柱と茎を分けます。
2. 茎の節の下から4～5節を残してその上をカット。
3. 新たな花芽が伸びるのを待ちます。

…1～2ヵ月程度で芽が出て数か月で開花(環境等による)

■お花を楽しんだ後の処分方法

(地域や自治体によって異なりますのでご注意ください)

- 水ゴケ・胡蝶蘭の本体**: 可燃ゴミ
- 発砲スチロール**: 地域や自治体のルールに従って処分してください。
- 胡蝶蘭が植えられていた鉢(陶器鉢)・支柱(ワイヤー)**: 不燃ごみ
- ビニールポット**: プラスチックごみ



3 生花

Fresh Flower

お花は季節によっても様々な表情を見せ、
香りも楽しむことができます。

いつも目につく所に飾っておくと、
見た目でも空間の空気が変わり、
気分もリラックスさせ癒し効果も期待できます。



置き場所

エアコンなどの風が直接当たる場所や、直射日光を避けて、できるだけ涼しい場所に置き、ご鑑賞ください。



ポイント

■ お花を長く楽しんでいただくために

● アレンジメント

すぐにラッピングを外し、器からお水があふれ出ないように確認しながら水をつぎ足します。

吸水性スポンジは一度乾くと水を吸うことができません。

● 花束

すぐに花瓶にラッピングを外して水につけてあげることにより長くお花を楽しむことができます。

束ねてあるそのままの状態または紐やゴムを外して複数にお花を分けて飾ります。その際、お水に浸かる葉はとり除きます。

■ 水替え

基本的には一日一回交換します。特に夏期はマメにとりかえることをお勧めします。

お花の茎は都度1〜2cm程度斜めにカットします。また茎は流水で、花瓶内側のぬめりは専用のスポンジなどで洗います。枯れた葉や咲き終わった花は順番につんでいきましょう。

■ 処分方法

アレンジメントの場合、吸水スポンジが入っていた器は綺麗に洗って、花瓶や小物入れとして利用することもできます。

※吸水スポンジは「燃えないごみ」として処分ができます。

但し、地域や自治体によって異なりますのでご注意ください。